

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

| | | | |
|-------|----------------------|--------|-----------------------------|
| | | 管理No. | |
| 施設の名称 | 山形県産業創造支援センター | 指定管理者 | 公益財団法人やまがた産業支援機構 |
| 所在地 | 山形市松栄 1-3-8 | 県担当課 | 産業創造振興課 |
| 指定期間 | 令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日 | (電話番号) | (0 2 3 - 6 3 0 - 2 7 0 8) |
| 検証期間 | 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 | | |

| 検証項目 | 指定管理者による自己検証 | 県(施設所管課)による評価・検証 |
|-------------------------------|--|---|
| 1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況 | | |
| ① 管理・運営業務の履行状況 | <p>1. 仕様書に沿い、管理責任者（センター所長）以下6名体制で管理運営し、常に安全性の確保と快適性の保持に努めるため、適正な維持管理と必要に応じた保守点検や修理を実施した。</p> <p>2. 入居者へのサービス向上を図るため、意見交換の場を設けるとともに、経営支援アドバイザーを配置して、入居者の事業活動を支援した。また、適宜、入居者の要望を把握して適切な施設運営に努めた。</p> <p>3. 県と管理要綱の見直しの協議を行い、令和5年度より入居更新ルールの改正を実施、入居者の施設卒業に向けた計画的な支援の強化を図り対応した。</p> | <p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様書に沿い、適正な管理運営・創業支援業務が行われている。 1企業の入居期間が長期とならないよう管理要綱を改正し、インキュベーション施設としての機能、役割を明確にした。 |
| ② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと） | <p>1. 仕様書に従い設備の維持点検を委託や自社対応で実施し、電気設備、空調関係、防災設備等の設備類の老朽化が進んでいることを確認した。修理や部品交換を要する箇所も増加していることから、大規模な修繕が必要とされる。県との協議の場を通して共通理解を図り、役割分担を明確にしながら、計画的に対応していく必要がある。</p> <p>2. 複数の空き室が発生しており、入居者募集につきさらなる広報を図る必要がある。</p> | <p>《課題等の原因分析》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設開設から25年が経過し、老朽化が進んでいることが原因と思われる。 入居希望者、産業支援機関などのターゲット層への更なる周知が必要と思われる。 |
| 課題、問題点への今後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> 施設、設備の修繕については、優先順位をつけて計画的に実施していく。 産業支援機関などが集まる場でセンターを周知し、利用拡大につなげる。 | |
| 2 利用者からの要望等への対応 | | |
| ① 意見・要望等及びその対応状況 | <p>1. 入居企業からの聞き取りやメール、掲示板、チラシ配布等を随時実施し、情報交換を行いながら当該施設の利用についての意見・要望の把握に努めた。寄せられた問題点については、迅速に対応した。</p> <p>2. 施設内で発生した諸問題に対し、第三者の立場で現状を整理し、随時対処方法を提案するなど、問題の解決に努めた。</p> <p>3. 会議室の使用許可申請について、様式をホームページに掲載し、メールやファックスでも申請できるように利用者の利便性向上を図った。</p> | <p>評価</p> <p>B</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者とのコミュニケーションを取りながら意見や要望の把握に努めている。また、苦情等あった際は入居者目線に立って対応した。 問題等が発生した場合、指定管理者と県が連携して解決した。 |
| 意見・要望等への今後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> 随時、入居者の意見、要望を把握し、施設でのトラブルを防ぐとともに利便性の向上に努める。 | |
| 3 指定管理者制度活用効果 | | |
| ① サービスの向上 | <p>1. 経営支援アドバイザーとインキュベーションマネージャーの配置により、入居者及び創業相談者に対する経営面の相談指導の充実が図られたほか、指定管理者の支援機能（専門家派遣、よろず支援拠点等）の活用により解決困難な相談にも対応した。</p> <p>2. 創業支援アドバイザー等による個別企業相談やメール配信等により、企業とのコミュニケーション維持に努めた。</p> <p>3. 先輩起業家とのパネルディスカッションや創業塾を実施し、起業への後押しを行った。また参加者同士の交流の機会を設け、繋がるきっかけを提供した。</p> <p>4. ホームページで公開している入居室や会議室の空き状況について、データの更新頻度を高め利用者の利便性向上を図った。</p> | <p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者・創業者への支援体制が強化され、指定管理者の専門指導機能等の活用によりニーズに合った対応が行われた。 先輩起業家との意見交換の場を提供し、起業希望者の後押し・支援を行っている。 ホームページの更新頻度を高め、随時情報提供を行うことで施設利用の促進を図っている。 |
| ② 経費の節減 | <p>1. 電気代の高騰に伴い、共有部分の消灯・空調の最低限の温度設定などで節電対策などを実施し、光熱費の節減に努めた。</p> <p>2. LED化や空調ユニット交換など必要な修繕を計画的に進め、大規模修繕に至らぬよう対応した。</p> | <p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有部分の随時消灯や空調の温度設定等入居者に協力を促し、節電に努めている。 |
| ③ その他(地域の活性化、雇用の確保等) | <p>1. 立地している「アルカディアソフトパーク」の自治活動に積極的に参加して施設利用のPRも行っている。清掃活動の際は、入居企業にも参加を呼びかけ、団地内事業所との融和を図っている。</p> | <p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治活動への積極的な参加により、地域に貢献している。 |
| 総合的な評価 | <ul style="list-style-type: none"> 仕様書及び事業計画書に基づき、管理運営が適正に執行されており、利用者の意見・要望等に対して適切な対応がなされていると認められる。 | |

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。